

# 東京都立 多摩総合医療センター

## 調布市医師会の救急医療体制

調布市医師会  
会長 佐々木 伸彦



昨 年6月に公益社団法人調布市医師会の第12代会長に就任いたしました佐々木です。調布市医師会は、昭和39年に北多摩医師会傘下の地区医師会として初めて分離独立し、今年で設立53年目を迎えました。また平成22年11月には全国の医師会として最初に公益法人の認可を受けております。

今年2月1日時点での調布市の人口は23万人を超え、平成26年に行った推計よりも早い速度で人口が増えております。調布市内には8つの病院を含む147の医療機関がありますが、公立病院、大学病院はなく、隣接市の多摩総合医療センター、杏林大学病院、慈恵医大第三病院、武蔵野赤十字病院などに御世話になっております。私は小児科医ですので小児総合医療センターの方が繋がりが強いのですが、調布市医師会の会員268名のうち都立総合医療センターの登録医は39名となっております。

調布市の救急医療体制は、日曜祝日と年始年末は9時から17時まで市内3箇所の医療機関が輪番制で診療を行い、日曜祝日と年始年末に土曜日も含めた19時から22時までは医師会館隣の夜間急患診療所で内科・小児科系と外科系で救急患者に対応しています。また平成17年からは狛江市医師会とともに慈恵医大第三病院において小児初期救急平日準夜間診療を行っています。土日夜間の救急診療は内科・小児科系は1日平均5～10名でインフルエンザ流行シーズンには深夜まで診療を行うこともありますが、外科系の受診患者は少なく骨折等の診療に必要なレントゲン設備もないため、本年7月より外科系の夜間診療を廃止し内科・小児科系の診療のみとなります。外科系の救急患者さんは市外の救急病院に診療を御願いますこととなりますが、なにとぞ宜しくお願い致します。

災害時の救急医療体制につきましては、発災72時間までは市内8箇所の病院及び慈恵第三病院に設置する緊急医療救護所にて会員は被災者のトリアージと軽症患者の治療にあたることになっており、毎年トリアージ研修会を開催し病院での緊急医療救護所設置訓練を行っています。多摩総合医療センターの森川健太郎先生にはいろいろと御指導を頂いており感謝しております。本年9月3日には多摩川河川敷で東京都と調布市の合同の総合防災訓練が予定されており、また10月29日には初めての試みとして市内2箇所の病院と慈恵第三病院、災害対策本部となる調布市保健センターでの同時訓練を実施することになっています。

今後も多摩総合医療センターと調布市医師会の医療連携が深まることを願っております。





# 呼吸器・腫瘍内科のご紹介

## 気管支サーモプラスティ ～喘息の最新治療～

呼吸器・腫瘍内科 医長 村田 研吾



当科は東京都の市部では最大級の総合病院呼吸器内科として連携医の先生方には大変お世話になっております。高森幹雄部長を中心に呼吸器指導医3名、呼吸器専門医3名を含む10名以上の医師で診療しています。診療圏は広く東京都にとどまらず、神奈川県、山梨県、埼玉県などからもご紹介をいただいています。診療対象疾患は、特定疾患・難病に指定されている疾患はもちろん、肺がん、間質性肺炎、喘息、サルコイドーシス、結核など、ほぼ全ての呼吸器疾患を網羅しています。

当科では呼吸器内視鏡指導医3名、専門医1名を中心に気管支鏡・局所麻酔下胸腔鏡による診断・治療を積極的に行っており、年間800～900件以上と国内トップクラスの施行件数を誇ります。

中でも力を入れている治療の一つに、気管支サーモプラスティがあります。気管支喘息の予後は吸入ステロイドの普及とともに改善したとは言え、10%程度の方が十分な治療を受けても喘息発作を起こす難治性喘息と言われていいます。気管支サーモプラスティは気管支鏡に通したカテーテルで気管支を温め、喘息発作を生じにくくする保険収載された治療(図1)で、その効果は長年継続すると考えられています。3～4週間毎に合計3回治療をすることで重症発作の頻度を減らし、仕事の欠勤や学校の欠席を減らすと報告されています(図2)。当院で行った患者さんも気道狭窄の指標である1秒量が改善し、現在まで重症な発作は生じていません(図3)。

図1. 気管支サーモプラスティ



図2. サーモプラスティの効果(Castroら. Am J Respir Crit Care Med 2010;181:116より引用改編)

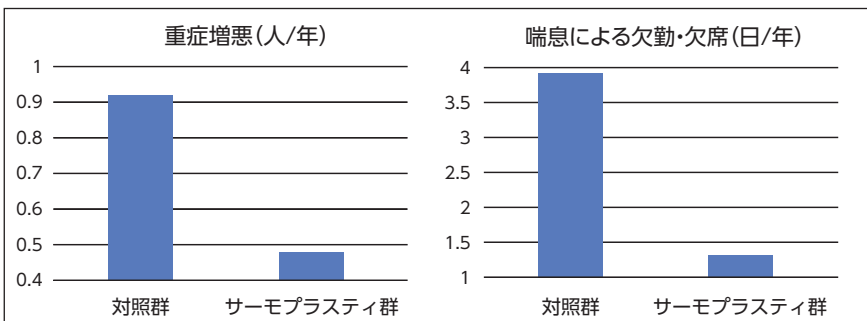
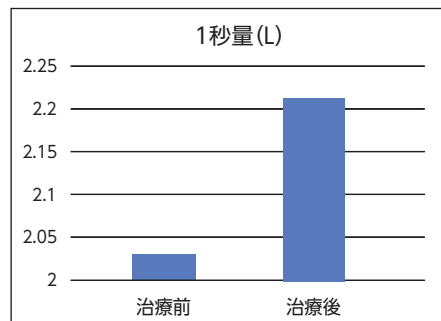


図3. 当院治療例の1秒量の変化



実施可能な医療機関は限られ、機器を保有しているのは東京都では当院を含めて5施設しかありません。喘息に対する東京都の「大気汚染医療費助成制度」も適応されます。マスメディアでも取り上げられておりますが、まだご存じない患者様もいらっしゃるようです。本誌と前後して当院オリジナルのポスター(図4)を各医師会宛にお届けする予定ですので、よろしければ患者さんにご覧いただけるよう院内の見やすい位置に掲示いただければ幸いです。

患者さんのご紹介はいつも通り、予約センター及び連携室でお受けしております。治療終了半年後の確認後、先生方に継続治療をお願いさせていただくつもりです。治療適応があるか不明である場合も、当科で病状を評価いたします。お気軽にご相談・ご紹介下さい。ご不明な点は、サーモプラスティ担当医師、村田までご連絡下さい。

今後ともよろしく願いたします。



図4. サーモプラスティご案内ポスター(見本)▶





# 医事課長着任のご挨拶

医事課長 大塚 哲也



平成29年4月1日付の人事異動により、齋木課長の後任として医事課長を拝命いたしました大塚と申します。平素より、近隣医師会の先生方をはじめ、医療関係機関の皆様には、当院の医療連携にご理解、ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

前職は新宿の都庁本庁舎で財政関係の事務に携わっておりまして、都民と直に接する第一線の現場は、久しぶりの経験となります。医事課はある意味で病院の「顔」とも言えますので、患者様やそのご家族とはもちろんのこと、地域の医療関係機関の皆様と良好なコミュニケーションを図り、地域連携のパイプラインとしてその役割を十分に果たしていくことができるよう、精一杯努めてまいりたいと思います。また、その際は皆様のお力をお借りすることもあろうかと思いますが、何卒ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、皆様の益々のご発展とご健勝を心よりお祈り申し上げ、挨拶とさせていただきます。

## おしらせ

### 整形外科外来のご案内

### 骨軟部腫瘍外来・肩関節外来の新設

当院整形外科はリウマチ外科と協働しながら外傷をはじめ関節疾患や脊椎疾患を対象に診療してきました。このたび、4月より東京大学医学部附属病院の腫瘍チームの小林寛先生の応援をいただき「骨・軟部腫瘍外来」を（第2・第4）月曜日の午後に開設する運びとなりました。特に悪性疾患に対する治療については、引き続き東大病院や駒込病院などと緊密な連携をしていく予定です。なお、転移性骨腫瘍に関しては、疾患の特性のため院内からの紹介のみで運用いたしますのでご理解とご協力をお願いできれば幸いです。

また、リウマチ外科には、前任の桃山現医長に代わり、墨東病院リウマチ膠原病科から永瀬雄一医長が異動されました。永瀬医師は肩関節の専門家でもあるので整形外科に「肩関節」専門外来も火曜日に新しく開設することになりました。リウマチ疾患以外でも、しつこい肩の痛みや肩の変性疾患に対しても積極的に診療できますので皆様のお役に立てることとっております。今後とも引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

### 各種講習会・勉強会のご案内 (医療従事者向け)

#### がん診療に関わるエキスパートのための学術集会 日常診療に潜む骨軟部腫瘍 ～見逃さないための診療のコツ～

座長：近藤泰児  
東京都立多摩総合医療センター院長

講師：小林 寛  
東京大学医学部附属病院  
整形外科・脊椎外科 助教

日時：6月6日(火) 19:30~20:30

会場：多摩総合医療センター講堂フォレスト

対象：北多摩南部医療圏医療従事者  
(医師・看護師・薬剤師)

共催：NPO法人多摩の医療健康増進フォーラム  
エーザイ株式会社

## 都立多摩総合医療センター 人事異動

【転入】平成29年4月1日付  
リウマチ膠原病科医長 永瀬 雄一

【昇任】平成29年4月1日付  
呼吸器科部長 高森 幹雄  
外科部長 森田 泰弘  
麻酔科部長 山本 博俊  
内科医長(消化器) 井上 大  
内科医長(内分泌) 佐藤 文紀  
循環器科医長 磯貝 俊明  
外科医長 大塚 英男  
診療放射線科医長 荒木 潤子  
歯科口腔外科医長 神山 勲  
麻酔科医長 松原 珠美

【採用】平成29年4月1日付  
内科医長(神経・脳血管) 齊藤 智成  
内科医員(消化器) 栗原 正道  
内科医員(神経・脳血管) 呉 侑樹  
呼吸器科医員 竹内 孝夫  
呼吸器科医員 川合 祥子  
循環器科医員 片岡 翔平  
外科医員 榑原 淳太  
外科医員 東原 琢  
脳神経外科医員 小泉 聡  
脳神経外科医員 鈴木 良介

泌尿器科医員 本田 幸  
産婦人科医員 中村 浩敬  
産婦人科医員 伏木 淳  
耳鼻咽喉科医員 伊東 明子  
歯科口腔科外科医員 渡部 幸央  
救命救急センター医員 濱口 純

【転出】平成29年4月1日付  
外科部長 高西 喜重郎  
リウマチ膠原病科医長 島田 浩太  
産婦人科医員 日高 志穂  
内科医員(消化器) 三浦 夏希

【退職】平成29年3月31日付  
外科部長 高見 実  
泌尿器科部長 長瀬 奏  
脳神経外科医長 堀川 弘史  
リウマチ膠原病科医長 桃山 現  
内科医長(神経・脳血管) 西山 康裕  
皮膚科医長 西脇 薫  
救命救急センター医員 萩原 祥弘  
脳神経外科医員 當銀 壮太  
循環器科医員 明石 まどか  
内科医員(神経・脳血管) 村賀 香名子  
呼吸器科医員 高橋 由希子  
皮膚科医員 脇本 紘子



## ●● 各種講習会・勉強会のご案内(医療従事者向け) ●●

### 第88回医療連携臨床懇話会

平成29年6月15日(木)午後7時～午後9時 4階401会議室

- 「見逃しやすい肺結核診断  
～他疾患入院中の発見・診断例から～」 呼吸器・腫瘍内科  
医長 和田 暁彦 先生
- 「高度肥満症に対する外科治療」 外科 医長 清水 英治 先生

※演題等に変更がある場合がございます。詳細は別途ご案内いたします。

### 公開C P C 各日とも午後6時～午後7時 4階401会議室

平成29年6月22日(木)、平成29年7月20日(木)、平成29年8月17日(木)

## ●● 各種講習会・勉強会のご案内(患者さん向け) ●●

※参加無料、事前予約不要です

### 糖尿病講習会 (会場：都立多摩総合医療センター講堂フォレスト)

- 「糖尿病網膜症」「点眼薬を正しく使いましょう」「外食・宅配等の利用方法」  
日時：平成29年6月14日(水)午後2時～午後4時
- 「糖尿病腎症」「透析療法の実際」「腎症予防にむけての食事」  
日時：平成29年7月12日(水)午後2時～午後4時
- 「糖尿病のセルフコントロール」「糖尿病内服薬の飲み方」「糖尿病手帳の使い方」  
日時：平成29年8月9日(水)午後2時～午後4時

※詳細はホームページをご覧ください。

当院は原則として、**紹介予約制**です。  
外来及びCT、MRI検査は必ず予約を取り、  
紹介状をお願い致します。

#### <電話予約センター>

月～土 受付時間 午前9:00～午後5:00

TEL : 042-323-9200

ご意見、ご投稿、お問い合わせは  
医療連携担当(内線2171)まで

#### <FAXによる診療予約>

月～土 受付時間 午前9:00～午後5:00

FAX : 042-323-9205

### 緊急の場合…必ず事前にご連絡ください

代表電話：042-323-5111から、①平日の午前9時～午後5時は「〇〇科責任医師」、②午後5時以降、土曜日、日曜日及び祝祭日は「〇〇科の救急担当医」とお申し付けください。

※一部の診療科では、夜間・休日は専門医がおりませんので診療できない場合があります。

※受診が決まった場合は、患者さんに紹介状(診療情報提供書)をお渡しください。

東京都立多摩総合医療センター 〒183-8524 東京都府中市武蔵台2-8-29  
TEL 042-323-5111(代表)

